

*Second Language Acquisition: Second Language Systems*

Neal Snape & Tanja Kupisch  
(2017)

Palgrave Modern Linguistics

(pp. xviii + 243) 4, 471 円

■第二言語習得研究の入門書

-----

本書は第二言語習得(SLA)の入門書であるが、過去何十年にも渡り出版されてきた、英文で書かれた数多くの入門書とは少なくとも以下の5点において異なる特色を持つと評者は考える。

1 番目として、本書の第1 著者である Neal Snape 氏が、日本に暮らし、日本の大学(群馬県立女子大学)の教員であることもあり、彼の研究対象が主として日本語を母語とする英語学習者(JLEs)に向き、必然的に JLEs を実験対象者とした研究の紹介が、他の入門書よりも圧倒的に多いことである。これは JLEs を教える我々にとって、その実例が分かりやすく、直接的に役に立つ。

2 番目に、幼児の同時バイリンガル(simultaneous bilingualism)の研究成果について、1 章を割り振り、SLA の入門書に詳細に解説を施している点を挙げたい。これは、本書の第2 著者である、Tanja Kupisch 氏がバイリンガル研究の専門家である点が大きく影響しているであろう。同時バイリンガル研究と第二言語習得の研究的アプローチは、重なる点も多々あるが、バイリンガル研究は基本的に幼児を対象としているため、それよりも年齢が上の学習者を対象とする場合が多い SLA の入門書では、これまでさ

ほどスペースを割いて扱われてこなかった内容である。

3 番目として、異なる理論的枠組みに基づいた第二言語習得研究を客観的に紹介している点を挙げておきたい。「第二言語習得理論に基づけば・・・」と一括りに SLA 理論を捉えようとする人もいるが、現在の SLA 理論がそのような一枚岩でないことは明らかである。大雑把に括っても、第二言語習得でも生得的な言語習得能力が機能することを前提として研究しているグループと、そのような能力を仮定しないで研究を進めるグループとに分かれる。両者の内部はさらに細かく分かれるが、本章では、その両方の立場に立ち、平等に双方の長所・短所についての解説が施されている点は秀逸である。

4 番目として、SLA における音声・音韻習得の研究について詳しく解説されている点を挙げたい。SLA 研究では、形態統語の習得が中心となる傾向があり、入門書では音声の習得は比較的軽んじられる傾向にあるからである。ここでも、JLEs を対象とした音声習得の実証的研究がふんだんに紹介されている。

5 番目として、第二言語習得研究成果の応用として、英語教授法への示唆が多く述べられていることをあげておく。どのように外国語学習者に教えていくと効果的か、また教師はどのような姿勢で授業に臨むと良いのだろうか、筆者達の考えが随所にまとめられている。

以上の特色を一冊の本にまとめたものが本書であるが、全体的には6 章立てとなっている。以下では各

章のタイトルを中心に、その内容についてごく簡単に紹介していく。

第1 章は、An Introduction to Linguistic Terms で、文字通り、初学者が本書を読むために最低限必要となる言語学や SLA に関する基本用語(例: 音素、形態素、普遍文法、臨界期仮説等)の説明を中心に書かれている。

第2 章は、Acquisition of Verbal Morphosyntax で、動詞を中心とした SLA 研究について論じている。つまり、文法形態素、過去形、三単現-s の習得、時制と相に関する習得などを扱っている他、ドイツ語などで定形動詞が線形的に前から2 番目の位置に置かれる verb second (V2) の習得研究などにも言及している。

第3 章は、Acquisition of Nominal Morphosyntax で、Snape 氏が長年研究し、かつ JLEs が最も苦手とする文法の1 つである冠詞について、理論的考察と習得研究の両方から、JLEs の研究成果を中心に詳しく解説しており、非常に読み応えがある。

第4 章は A Comparison Between UG and Non-UG Frameworks と題し、前述もしたが、異なる理論を背景とした第二言語習得研究とその主張、研究成果を紹介している。

さらに、第5 章は L2 Phonology で、第二言語学習者の音声習得について、第6 章では、Simultaneous Bilingualism と題し、幼児の二言語併用の諸課題について解説する章構成を採用している。

英文は大変読みやすい。本書から、第二言語学習者、特に JLEs に関する習得の実態や、これまでの研究の流れを知ることができ、我々にとつ

て非常に役に立つ書物である。

ISBN: 978-1137367068

(静岡大学教授 白畑知彦)

